

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あさひ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 28日		令和8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 30人
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		令和8年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもは安心感をもって通所している	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様一人ひとりの特性やペースに合わせた関わりを意識しています。 ・環境の変化や活動内容について事前に伝え、見通しを持って過ごせるよう配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より安心して過ごせるよう、個々の不安要因の把握と環境調整を継続して行います。 ・職員間での情報共有を強化し、一貫した関わりができる体制を整えていきます。
2	こどもは通所を楽しみにしている	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で元気にお子様をお迎えするように意識しています。 ・お子様の興味関心に合わせた活動や関わりを取り入れ、楽しく過ごせる環境づくりを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の「やってみたい」という気持ちを大切に、活動内容の幅を広げていきます。 ・成功体験を積み重ねる機会を増やし、通所への意欲向上につなげていきます。
3	事業所の支援に満足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様との連絡や面談を通して、ご意向やニーズの把握に努めています。 ・学校や関係機関と連携し、一貫した支援が行えるよう情報共有を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な振り返りや満足度の確認を行い、支援内容の見直しにつなげていきます。 ・保護者様への説明やフィードバックをより丁寧に行い、安心して利用していただける体制づくりを行います。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか	秋祭り等設定をしていますが、保護者同士の交流の機会や、きょうだいを対象とした支援の場の設定が十分とは言えない状況であります。	保護者会や交流の機会について、無理のない範囲で開催方法を検討していく必要があると考えています。また、きょうだい児への配慮として、参加しやすいイベントや情報提供の機会を検討し、家族全体への支援の充実を図っていきます。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	避難訓練や研修等は行っていますが、実施内容のバリエーションや報告が十分とは言えません。	地震・火災・水害など複数の想定で継続的に避難訓練を実施し、訓練した内容を保護者へ周知をしていきます。
3	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思うか	お子様の人数で十分なスペースはありますが、十分ではないと感じられているので、空間の使い分けにより難しいことが要因として考えられます。	活動内容や人数に応じた空間の使い分けやスケジュール調整を行い、環境を工夫し、落ち着いて過ごせるスペースの確保を図ります。